

3. インド

1. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し

2. COVID-19 により顕在化したFVC の課題

1. デリー首都圏（含デリー連邦直轄領）

2. ウッタル・プラデシュ州

3. グジャラート州

4. カルナタカ州

5. テランガナ州

[補足] 全国

3. 現地FVC 再構築に向けた最新動向

COVID-19により顕在化したFVCの課題 | カルナタカ

農業資材では利用可能な収穫機の数が増えリース料が約15%上昇



トピック

課題

内容

顕在課題
潜在課題

課題分類 ① ヒト

② モノ

③ カネ

④ データ

農業機械



③

収穫機のリース数 減少による価格上昇

- ハリヤナ州、パンジャブ州、アンドラプラデシュ州などの他州から借りる収穫機の数が増え商業活動の制限により例年より減少
- 農家が支払う収穫機のレンタル料も例年より約15%上昇
(1時間あたり1,500ルピー → 2,200ルピーへ)

※肥料、農薬、種子、飼料へのCOVID-19による特段の課題は見られない (11月30日)



COVID-19 により顕在化したFVC の課題 | カルナタカ

農業生産では移動制限、労働者不足などにより穀物(30%)、野菜(80%)などの収穫量が減少

トピック 課題 内容 顕在課題 潜在課題 課題分類 ① ヒト ② モノ ③ カネ ④ データ

農業生産



① ②

移動制限による
収穫量減少

- ロックダウンの影響で、農家が農場に行けず米、小麦、ジョワール、綿花、トウモロコシ、キビなどの収穫が困難に
- 州の一部の地域では、農作物30%以上が収穫不可能



①

労働者不足による
収穫量減少

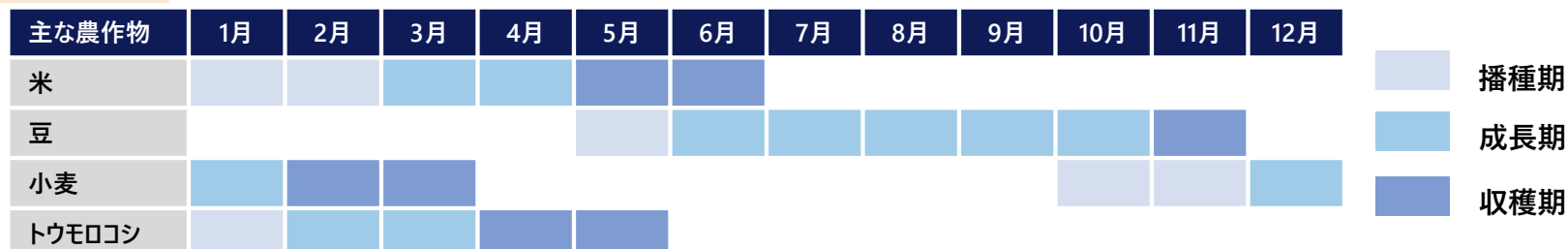
- トマト、バナナなど一部の果物は外部から来る専門の作業者が収穫するが、移動制限と労働力不足により、3,000トン以上のブドウが農場で腐敗し収穫量が減少
- ロックダウン開始から最初の数か月で、トマト約80%、バナナ約60%の供給が減少



① ②

作付面積縮小による
収穫量減少

- ケララ州からの移住者が州内で土地を貸借して運営を行う生姜農家では、ケララ州の感染拡大の噂(*)の影響で、土地貸借の許可が出ず。許可が出た場合も耕作可能な面積は貸借した土地の40~50%に縮小
- 作付面積減少の影響で、20年度の生姜の収穫量が減少する可能性



(*) 国内におけるCOVIDの最初の感染がケララ州で発生した影響で、ケララ州の人々がCOVID感染を拡散しているという噂が拡大

COVID-19 により顕在化したFVC の課題 | カルナタカ

また、漁業では労働者不足により漁獲量が30%減少



Karnataka

トピック

課題

内容

顕在課題

潜在課題

課題分類 ① ヒト

② モノ

③ カネ

④ データ

漁業



①

労働者不足による
漁獲量の減少

- 水産業の労働者の多くはタミルナードゥ州、オリッサ州、ビハール州など他州からの移民労働者であり、ロックダウン中に帰郷
- 水産業者はロックダウン後、労働者不足で操業を再開することが困難になり、漁獲量が30%減少



COVID-19 により顕在化したFVC の課題 | カルナタカ

輸送制限による輸送の遅延で、食品が港や倉庫に滞留し食品ロスや市場到着遅れが発生

トピック

課題

内容

■ 顕在課題

■ 潜在課題

課題分類 ① ヒト

② モノ

③ カネ

④ データ

陸上輸送



②

トラック不足による
農作物の市場未到達

- ロックダウン期間、輸送手段が利用できず農家は農産物を市場に運ぶことが困難に。市場に出す農作物の量が減少
- 2020年に（4月）に市場に出た農産物の昨年比は以下の通り

米	豆類	トマト	玉ねぎ	バナナ	ブドウ
12%	77%	15%	20%	26%	36%

海上輸送



②

輸出規制による
コーヒー輸出停止

- コーヒー硬化工場は、地区から商品の輸送許可が下りないため、マンガールル(Mangaluru)港とコーチン(Kochi)港で商品が停滞。約20,000メートルトン（40億ルピー相当）のコーヒーが輸出不可能に
- 国のコーヒー生産の70%を担っているため、出荷許可が下りないことで、国全体のコーヒー輸出量が3.2%減少

倉庫



②

冷蔵倉庫不足による
食品ロス

- 果物と野菜の約40%は州外の市場へ出荷
- 現状、州内に136の冷蔵施設（うち14が政府所有）が存在するが、生産量に見合っておらず冷蔵倉庫を現状の約50%増加させる必要があるという試算が存在
- 移動制限中、州内に十分な冷蔵倉庫がないため、果物や野菜が腐敗

(*): 1ルピー = 約0.013ドル

Source: News Reports



COVID-19 により顕在化したFVC の課題 | カルナタカ

労働力、原材料不足により食品加工工場の稼働率低下。
小売店閉鎖による需要減により精米工場の売上高が60%減少

トピック

課題

内容

■ 顕在課題

■ 潜在課題

課題分類 ① ヒト

② モノ

③ カネ

④ データ

製粉・製糖



①

食品加工工場の稼働低下

- ロックダウン中。食品加工工場は稼働が許可されていたが、労働力不足、原材料不足などの理由により稼働が低下
- ロックダウン前と比較した食品加工工場の種類ごとの稼働率は以下の通り

種類	精米所	小麦製粉所	豆加工工場	製糖工場
稼働 (%)	58%	68%	97%	37%

製糖業



③

産業需要減による製糖工場の利益低下

- 清涼飲料、チョコレート、菓子などの工場や、ホテル、レストラン、カフェが閉鎖したことにより産業用の需要が減少
- 輸送制限により燃料利用が減り、エタノール需要も減少
- 2020年度の製糖工場の営業利益は3%低下する見込み

精米



② ③





小売店閉鎖による米の売上高低下

- 精米工場が多いトゥンガバドラ(Tungabhadra)川地帯は、州の米生産量の60%を占有
- 食料品店やモールが閉鎖され、米屋の売上高が減少（50%）した影響で、需要が減少しトゥンガバドラ(Tungabhadra)川地帯の精米工場の売上高は60%減少



COVID-19 により顕在化したFVC の課題 | カルナタカ

レストランやホテルの閉店、行事の中止で需要が減少（青果40%）したことに伴い 売上高の低下（牛乳30%）や卸売価格の低下（魚約40%）が発生

トピック	課題	内容
レストラン 	① ③ 顧客減少による レストラン閉店	<ul style="list-style-type: none"> 州都バンガロール(Bengaluru)には、約21,000のレストラン/ホテルが存在 ロックダウン中、レストラン/ホテルは顧客の減少により売上が低下。レストランの10%が閉店
青果卸 	② レストラン閉店や イベント中止による 果物・野菜の需要減	<ul style="list-style-type: none"> レストランの閉店、結婚式や公の行事等の中止により果物・野菜の需要が減少 ロックダウン期間中に40%減少
牛乳卸 	② ③ 需要減による 牛乳卸の売上高低下	<ul style="list-style-type: none"> ホテル、レストラン、カフェが閉鎖された影響で牛乳の需要が減少 ロックダウン中（3月から4月）の牛乳の売上は30%低下
魚卸 	② ③ 移動制限による 魚の卸売価格低下	<ul style="list-style-type: none"> ロックダウンによる5か月の休業後、9月に深海釣りが再開 一方、魚の卸売業者は移動制限により小売店への輸送が滞っており、魚の新規入荷を控えている状況。深海釣り業者が魚を水揚げするも、卸売業者からの需要は低く魚の卸売価格が30%~40%低下

COVID-19により顕在化したFVCの課題 | カルナタカ

欧州市場の輸入需要減少により輸出量が減りコーヒーの輸出価格が最大50%低下



トピック

課題

コーヒー



② ③

輸出減による
コーヒーの輸出価格低下

内容

顕在課題

潜在課題

課題分類 ① ヒト

② モノ

③ カネ




④ データ

- インドのコーヒーの70%を生産。欧州などに輸出
- COVID-19発生後、欧州で小売店やレストランの営業が制限され、コーヒーの消費が減ったため輸入業者はコーヒーの輸入量を減少
- 欧州からの需要が減ったため輸出量が減少し、コーヒーの輸出価格が15%~50%（品種による）の範囲で低下



COVID-19 により顕在化したFVC の課題 | カルナタカ

給与所得者の44%が給料減少に直面し食品消費量が減少。COVID感染リスクに関する噂の影響で鶏肉の価格が上昇。3密リスクや利便性低下からスーパーからママパストアへの移行が発生

トピック	課題	内容
消費者の給与 	② ③ 給与所得減少による消費量減少	<ul style="list-style-type: none"> 給与所得者の44%が、給与未払い、減給、失業に直面 これら世帯の約77%は、ロックダウン前と比較して食料消費量が減少
鶏肉 	② ③ ④ 噂の反動による鶏肉の価格上昇	<ul style="list-style-type: none"> 家禽がCOVIDを広めるという噂が広まり一時的に鶏肉の需要が低下（売上ベースで10%まで低下）。養鶏業者は家禽を処分 その後需要は回復（売上ベースで60%まで回復）するも、家禽が不足し供給が追いつかない状況に 鶏肉の価格は30ルピー/kgから125~180ルピー/kgまで上昇
スーパーマーケット 	④ 3密回避によるパママストア移行	<ul style="list-style-type: none"> 消費者は、スーパーの閉ざされた空間や、包装食品に対して十分な感染対策・衛生対策がなされているかに懐疑的。また社会的距離を保つため、一度に5人までしか入店が許可されず買い物に時間がかかるなどスーパーの利用に不便を感じる風潮が拡大 消費者は地元のパママストアに移行し、スーパーマーケットの売上は40%~80%減少

(*)：1ルピー = 約0.013ドル

Source: News Reports,

3. インド

1. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し

2. COVID-19 により顕在化したFVC の課題

1. デリー首都圏（含デリー連邦直轄領）

2. ウッタル・プラデシュ州

3. グジャラート州

4. カルナタカ州

5. テランガナ州

[補足] 全国

3. 現地FVC 再構築に向けた最新動向

COVID-19により顕在化したFVCの課題 | テランガナ

港の労働者不足の影響で輸入肥料の農家への到着が約1か月遅延



トピック

課題

内容

 顕在課題
 潜在課題

課題分類 ① ヒト

② モノ

③ カネ

④ データ

種子



②

種子会社閉鎖による
来期の作付け量減少

- 同州は400以上のを多国籍種子会社、保管施設を備えたインドの種子ハブとして機能。国の種子需要の約70%、および東南アジアやアフリカの国々に種子を提供
- ロックダウンにより種子生産量が減少。来シーズン、農家へ供給する種子が不足する可能性

肥料



②

港の荷下ろし遅れによる
肥料到着の遅延

- 輸入肥料（尿素）が、港の労働力不足による荷下ろしの遅れで港に滞在
- 農家への肥料供給に遅れ（1か月以内）が発生

資金



③

経済低迷による
農家の資金不足

- 農家が資金不足に直面している中、政府が農家のローンを肩代わりすることを銀行に約束。しかし政府の銀行への支払いが遅れたため、銀行側が農家向けに再度ローンを提供することを拒否する可能性
- その他のインフォーマルな貸し手（しばしば高金利を要求）も、ロックダウンによる経済流通の乱れで資金が不足し、農家向けのローン提供ができない可能性



COVID-19 により顕在化したFVC の課題 | テランガナ

労働者の帰郷に伴う労働力不足、感染リスクの不安による農業活動の自粛によりバナナやスイートレモンの収穫量が減少

トピック

課題

内容

■ 顕在課題

■ 潜在課題

課題分類 ① ヒト

② モノ

③ カネ

④ データ

労働力



①

労働者帰郷による労働力不足

- ロックダウンにより、労働者が帰郷
- 米、トウモロコシ、唐辛子、バナナ、スイカ、ブドウなどの作物（冬に播種され、春に収穫する作物）の収穫に携わる労働力が不足

収穫

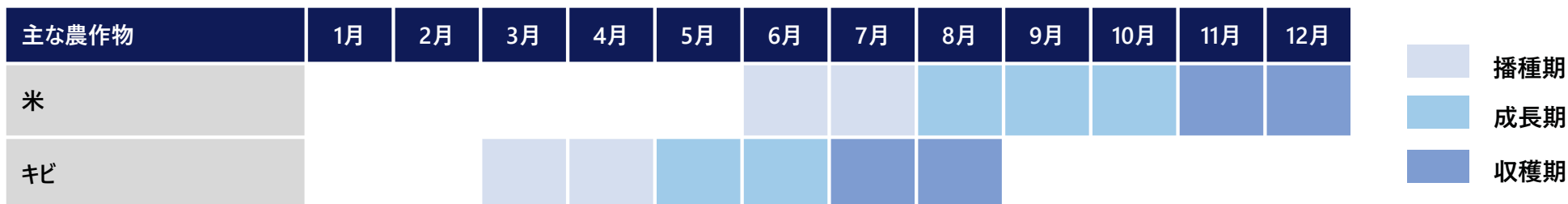


①

②

感染への不安による収穫量減少

- ロックダウン期間中、農家は生産活動を許可されたものの、感染を恐れて農業活動を自粛
- 米、トウモロコシ、唐辛子、バナナ、スイカ、ブドウなどの作物（冬に播種され、春に収穫する作物）の収穫に影響
- 例えば、バナナ4,000ha分、スイートレモン600ha分が収穫されずに廃棄



COVID-19 により顕在化したFVC の課題 | テランガナ

僻地での輸送手段不足による輸送停滞、輸送遅延による食品ロスが発生



トピック

課題

内容

 顕在課題
 潜在課題

課題分類 ① ヒト

② モノ

③ カネ

④ データ

陸上輸送



②

輸送手段不足による輸送停滞

- ロックダウン中、農作物の輸送は許可されていたが、僻地の村では輸送手段が利用できず輸送が完全に停止
- 移動制限によりスイートレモン、レモン、バナナ、パパイヤ、ブドウ、ザクロの農家は、作物を他州に輸送不可

海上輸送



①

②

労働者不足による積み下ろし遅延

- 港では労働者の帰郷により労働力が不足
- 農業資材、食品の積み下ろしの遅れが発生している可能性

倉庫



②

輸送遅延による食品ロス

- 冷蔵倉庫が不足し、移動制限による輸送の遅れの影響で食品ロスが発生
- 例えば、5月、バナナを保管するための冷蔵倉庫が不足し、1週間以上遅延が発生した場合、バナナを廃棄



COVID-19 により顕在化したFVC の課題 | テランガナ

製菓メーカーなどからの需要減により製糖工場の生産量減、 精米工場の労働者帰郷による労働力不足が発生

トピック

課題

内容

顕在課題

潜在課題

課題分類 ① ヒト

② モノ

③ カネ

④ データ

製糖業



② ③

需要減による
砂糖生産量の減少

- ロックダウン中、大口バイヤー（製菓、ベーカリーメーカー）からの需要減少により、製糖工場での砂糖生産量が減少
- 11の製糖工場では砂糖の粉碎工程（粉末状の砂糖を作る生産工程）を中止

精米



① ②

労働者帰郷による
労働力不足

- 精米工場の労働者の95%はビハール州からの移住労働者
- ロックダウンにより精米工場に働いていた移住労働者が帰郷
- 州政府は、農家から1,050万トンの稲を調達するにあたり、精米工場の労働力不足に直面。ビハール州から精米工場に働いていた労働者を呼び戻すため列車を手配



COVID-19 により顕在化したFVC の課題 | テランガナ

バーやレストランは営業再開後も50%の営業制限とデリバリーへの未対応による需要減に直面
スーパーではロックダウン開始直後の需要増による在庫不足が発生、供給能力が低下

トピック

課題

内容

■ 顕在課題

■ 潜在課題

課題分類 ① ヒト

② モノ

③ カネ

④ データ

レストラン



② ③

感染リスク回避による
需要減

- 州政府はアンロックダウン5（9/26より実施）の一環として、バー、レストランの再開を許可するも、収容人数の50%の規制あり
- 家庭での食品デリバリー需要が高まる一方、デリバリーに対応していないレストランで需要が減少

スーパーマーケット



②

州外入荷商品の
在庫不足による
供給能力低下

- 州内のスーパーマーケットチェーンVijethaの58店舗は、3月のロックダウン開始直後に需要が増加。（穀物25%、果物・野菜・スナック40%、有機食品・健康食品25%）
- Vijethaを含む食品小売業者は、主にマハラシュトラ州、デリー、チェンナイ（Chennai）、バンガロール（Bangalore）など州外から調達を行っており、移動制限により商品入荷が遅延。在庫不足となり供給能力が低下

COVID-19 により顕在化したFVC の課題 | テランガナ

家禽肉の消費とCOVIDの関連性に関する噂の影響で鶏肉の需要が減少し、
価格も低下（50%）。パニック買いによる買い占めにより価格が一時的に上昇



Telangana

トピック

課題

内容

 顕在課題

 潜在課題

課題分類 ① ヒト

② モノ

③ カネ

④ データ

鶏肉



② ③ ④

噂の影響による
価格低下

- 家禽がCOVIDを広めるという噂が広まり一時的に鶏肉の需要が30～35%減少、
価格が50%低下

スーパーマーケット



② ③

パニック買いによる
価格上昇

- ロックダウン期における食料品の買い占めにより価格の上昇が発生（具体的な数値データなし）

3. インド

1. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し

2. COVID-19 により顕在化したFVC の課題

1. デリー首都圏（含デリー連邦直轄領）
2. ウッタル・プラデシュ州
3. グジャラート州
4. カルナタカ州
5. テランガナ州

[補足] 全国

3. 現地FVC 再構築に向けた最新動向

COVID-19 により顕在化したFVC の課題

ロックダウンによりサプライチェーンの混乱、農家の収入減少が起こり農業資材に影響



農業資材への影響

 顕在課題

 潜在課題






課題分類

① ヒト

② モノ

③ カネ

④ データ

Theme	Impact	Description
 種子	③ ロックダウン中の売上高 15~20%減少	<ul style="list-style-type: none"> 物流が制限されたため、遠隔地にある小規模農家には種子供給が遅延 港、航空貨物、試験所の運営が制限されたため高品質の種子の輸入に影響。農家は低品質種子を止む無く使用
 肥料	① ② ③ ロックダウン期間(45日間) 肥料工場は50-70%の稼働	<ul style="list-style-type: none"> 労働力の不足により肥料工場は50~70%で稼働 為替レートと輸送費の増加により、輸入肥料のコストが増加 ロックダウン期間中、尿素が一時的に不足
 農薬	② 輸入減少による在庫不足	<ul style="list-style-type: none"> 主な輸入元である中国からの輸入が減り、在庫が不足 インプットをトレーダーに依存している地方の調合師は材料不足に悩む
 農業機械	③ 農家のクレジット利用の 低下による売上減少	<ul style="list-style-type: none"> インドのトラクターの95%がクレジットで購入されている。農家にクレジットを提供するトラクターディーラーや金融機関がロックダウンで閉鎖し、農家の売上が減少 一方、農業のピークである雨期*の労働力不足により、農家は代替手段として機械化を模索
 灌漑	② マイクロ灌漑システムの設置 40%以上縮小 (ハリフシーズン)	<ul style="list-style-type: none"> 輸送の制限により、機械のタイムリーな配送とマイクロ灌漑システムの設置が遅延 Pradhan Mantri Krishi Sinchayee Yojana (PMKSY) スキームに沿った年間行動計画がない場合、短期的に50%縮小する見込み



COVID-19 により顕在化したFVC の課題

主要作物の国内需要・輸出は、ロックダウンの影響を受ける中、 有機食品は健康志向により需要が増加

農業生産への影響

 顕在課題

 潜在課題






課題分類

1 ヒト

2 モノ

3 カネ

4 データ

Theme	Impact	Description
 米	2 労働力不足と輸送制限による米の輸出の遅れ	<ul style="list-style-type: none"> パンジャブとハリヤナはインド全体の米生産に約15%貢献 精米はロックダウン中も許可されていたものの、労働力不足と輸送制限により米の供給に影響 サプライチェーンの乱れによる3月、4月のバスマティ米の輸出の遅れ
 トウモロコシ	2 3 家畜飼料産業の生産・販売減でトウモロコシの販売価格が下落	<ul style="list-style-type: none"> トウモロコシ生産の約80%が動物飼料産業による消費 ロックダウン中における家畜飼料の生産・販売の減少がトウモロコシの販売価格に影響 ロックダウン期間中、トウモロコシの価格は19~20ルピー-(*)/ kgから11~12ルピー- / kgに下落
 油糧種子 (大豆)	3 家禽・養殖産業からの需要の減少	<ul style="list-style-type: none"> 油糧種子の主要な利用者である家禽産業の稼働率が従来の30~35%に、水産養殖産業のそれが70%に低下 ロックダウン中に大豆の需要は約50%減少 (参考: 2019年の大豆生産総量は約850万トン) ロックダウン中に大豆の価格が38ルピー- / kgから32ルピー- / kgに下落
 家禽肉	2 消費者需要の低下で家禽産業に損失	<ul style="list-style-type: none"> ロックダウン期間中、肉の消費によるウイルスの蔓延の噂が広まったことに牽引され需要が減少。家禽産業の損失額は2020年4月末時点で2,700億ルピー 専門家談 3月における養殖産業のコスト構造。価格が10~25ルピー-/kg、生産コストは70~80ルピー-/kg
 有機食品	1 2 労働力不足と輸送制限による供給の遅れ	<ul style="list-style-type: none"> 農場の労働力不足と輸送制限により、生産と供給に影響 一方、健康志向により消費者が種子、ハーブ、ウコン、ショウガなどの有機食品を求めようになり、有機食品会社ではロックダウン期間中に需要、オンライン販売が増加

(*): 1ルピー = 約0.013ドル

Source: FICCI, Hindu BusinessLine, News Reports



COVID-19 により顕在化したFVC の課題

サプライチェーンが機能せず、ロックダウン中に倉庫（冷蔵含む）の利用が増加 自動化やデジタル化の遅れの課題も顕在化

保管&運送への影響

■ 顕在課題

■ 潜在課題

課題分類

① ヒト

② モノ

③ カネ

④ データ

②

倉庫需要増加への対応

- ・ 倉庫の需要は急速に高まり、キャリーオーバー在庫とロックダウン中の小売や輸出などサプライチェーンの混乱により、多くの倉庫がフル稼働状態
- ・ 腐りやすい果物や野菜、加工食品の生産者からの冷蔵需要の増加

② ④

自動化・デジタル化の遅れ

- ・ 自動化やテクノロジー利用がされておらず、労働力不足によりロックダウン中のオペレーションが混乱

① ③

労働力不足によるコスト増

- ・ ロックダウン中のトラック運転手の不足により、全セクターの物流コストが20～40%増加
- ・ サプライチェーンの仲介者とトレーダーが負担するコストが増加したため、一部の食品の小売価格と卸売価格が上昇



COVID-19 により顕在化したFVC の課題

食品加工においては、労働力不足と原材料の価格変動という供給側の制約に直面、FMCG(食料・日用品)企業は、消費者の需要の変化に応じて新たな製品の提供を開始

食品加工への影響

■ 顕在課題

■ 潜在課題

課題分類

① ヒト

② モノ

③ カネ

④ データ

Theme	Impact	Description
供給側	① ③ 原材料の価格変動	<ul style="list-style-type: none"> 食品加工は必要最低限のサービスのカテゴリーに分類（ロックダウン対象外）。一方、サプライチェーンの混乱による原材料の値上がりが発生
	① 労働力不足	<ul style="list-style-type: none"> 往來の制限と労働者の引き揚げ（故郷への回帰）によりマンゴー、シーフードなどの季節産業にインパクト 専門家によると、主要な食品加工会社は、労働力不足のためロックダウンの初期の期間中15～20%で稼働
需要側	② 特定の食品カテゴリーに対する需要の低下	<ul style="list-style-type: none"> COVID-19と動物の関係性についてのデマにより家禽、食肉産業の損失が発生。COVID-19の発生源として鶏肉と卵に関する誤った認識が広がり、家禽産業に打撃 米国、ヨーロッパ、中国からの輸出需要の減少により、茶、スパイス、シーフード加工の企業に打撃
	② 新製品カテゴリー導入への対応	<ul style="list-style-type: none"> 消費者の間で健康増進・免疫力強化の製品への選好が高まり、FMCG企業は新製品を提供を開始 <ul style="list-style-type: none"> Marico（インドの日用品製造企業）は野菜の洗浄に使える商品「ベジクリーン」を発売 Dabur（インドの日用品製造企業）は免疫強化製品を発売する計画



COVID-19 により顕在化したFVC の課題

ロックダウンによりオムニチャンネルとハイパーローカル(地域密着)志向への急なシフトが起こり、オンラインでの小売チャンネルを利用した販売量が増加

卸・小売への影響



顕在課題



潜在課題

課題分類

① ヒト

② モノ

③ カネ

④ データ

①

ソーシャルディスタンスや非接触対応の困難

- 魚市場では物理的な距離を取ることが難しく、消費者は安全な販売店での購買を選択
- ホテルでは、物理的な接触を最小限に抑えるために当面ビュッフェサービスが停止され、メニューも限定

①

労働力損失

- ロックダウンにより多くのブティックホテルは開業できず、スタッフを解雇

③

収入減と支出増による閉業

- 多くの高級コーヒーショップは利用者減少と高賃料を危惧し、ロックダウン後の事業再開を断念



COVID-19により顕在化したFVCの課題

COVID-19によりインドの消費者行動はオンライン中心に変化 デジタル化への対応が必要

消費への影響

■ 顕在課題

■ 潜在課題

課題分類

① ヒト

② モノ

③ カネ

④ データ

4

デジタル化への対応

- 多くのレストランがオンライン販売に対応した一方、オンライン注文に必要なスマートフォンやデジタルリテラシーを持っていない消費者も多数存在

COVID-19下のインドの消費者

What?

購入した製品とSKU

- 必須食料品および消毒剤、即席めん、ビスケット
- 2019年と比較して、3月の月次大型パック販売が20%増加

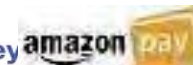
- ✓ 店舗やオンラインでの食料品のカード取引が12%から50%に増加
- ✓ 以下のモバイルウォレット各社は、3月24～4月23日に50%前後の高い成長率を達成：

66%



JioMoney

63%



amazon pay

43%

paytm

How?

支払い方法と頻度

- Amazon, Big basket, Swiggy, 1MGがCODの受け入れを停止-販売量の40%
- 最初の週の買いだめでデジタルトランザクション量が20%増加

3倍 ロックダウンの最初の2週間でBigBasketとGrofersの注文が3倍に増加

2倍 ロックダウンから1か月以内で地元のキラナショップの売上が2倍に増加

Where?

購入チャネル

- ECマースの閉鎖により、キラナ店の売上が増加
- ロックダウン中は電子食料品プラットフォームから注文

3. インド

1. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し
2. COVID-19 により顕在化したFVC の課題

3. 現地FVC 再構築に向けた最新動向

1. デリー首都圏（含デリー連邦直轄領）
 2. ウッタル・プラデシュ州
 3. グジャラート州
 4. カルナタカ州
 5. テランガナ州
- [補足] 全国

令和2年度海外農業・貿易投資環境調査分析委託事業（COVID-19によるグローバル・フードバリューチェーンへの影響分析調査（南アジア）
 マンスリーレポート2020年11月【インド】
 （NRI調べ）

3. 現地FVC再構築に向けた最新動向

橙色：更新情報

該当州	カテゴリ	サマリ
1. デリー首都圏 （含デリー連邦 直轄領）	政府の支援策	デリー政府は食料供給を維持すべく必需品販売者・輸送者への電子パスや生活弱者へのヘルプライン・無料の食事を提供。中長期では農家・中小事業者向けに農産品マルシェの開設を計画
	民間企業の事業動向	デリーのスタートアップ企業Agribazaarのオンライン販売プラットフォームには1万2,000戸の農家が参画。ロックダウン期間中も販売機会を提供
	第3国(企業)・国際組織の動向	Googleはデリー政府と協力し、ロックダウン期間中に塗炭の苦しみを味わっていた出稼ぎ労働者等の経済弱者向けに食料・シェルターの位置をGoogle Maps上で情報提供
2. ウットル・ プラデシュ州	政府の支援策	農家生産・収穫の支援措置、換金作物生産の振興、農産品流通の民間への門戸開放等を実施 中小零細の食品加工業者の生産性向上に向け財政・技術援助を実施
	民間企業の事業動向	大手食品・日用品メーカーITCは生活必需品を消費者に届けるべくEコマース分野で企業と提携
	第3国(企業)・国際組織の動向	国連世界食料計画は州政府と共同で児童の栄養改善プログラム、女性の自助組織支援を実施
3. グジャラート州	政府の支援策	パンデミック期間中、州政府は農家の市場販売を容易にするための改革や、外部ショックに脆弱な人々への食料支援を実施
	民間企業の事業動向	他州の酪農家が低価格での製品販売を余儀なくされる中、グジャラート州の代表的酪農ブランドAmulはパンデミックにも耐性を持つ強固なサプライチェーンを保有することを証明
	第3国(企業)・国際組織の動向	州の農家に対しより良い価格で、全国大の販売機会をもたらすプラットフォームをAmazon Freshが提供



令和2年度海外農業・貿易投資環境調査分析委託事業（COVID-19によるグローバル・フードバリューチェーンへの影響分析調査（南アジア）
 マンスリーレポート2020年11月【インド】
 （NRI調べ）

3. 現地FVC再構築に向けた最新動向

該当州	カテゴリ	サマリ
4. カルナタカ州	政府の支援策	FVCを円滑化するために相談窓口の設置や、農家への無利子ローン提供。 農家への無利子ローン提供、消費者向けに郵便局が食品配送する仕組みを構築
	民間企業の事業動向	鶏肉加工を営むLiciousはCOVID前からレジリエントな体制を構築しており、COVID下において売上を拡大
	第3国(企業)・国際組織の動向	Bayerは農業資材の提供や農業生産のアドバイスにより36,000人以上の農家を支援
5. テランガナ州	政府の支援策	農家に対して直接販売機会を提供するほか、肥料の安定供給を支援
	民間企業の事業動向	イセ食品は卵生産プロセスにおいて非接触・完全自動化する試みを実施 Innovent Technologiesはオンライン酒宅配の需要増加を見越してオンラインの酒宅配プラットフォームを開設
	第3国(企業)・国際組織の動向	Syngenta GroupはCOVID-19に対する農家の不安解消のため、市況の変化、COVIDの影響など農業関連の情報提供とアドバイスを行うヘルプラインを開設

インドご報告内容 & サマリ - COVID-19 により顕在化したFVC の課題 & 現地FVC再構築に向けた最新動向

発生した課題への対応事例は下記の通り

課題対応の方向性

課題整理フレームワーク

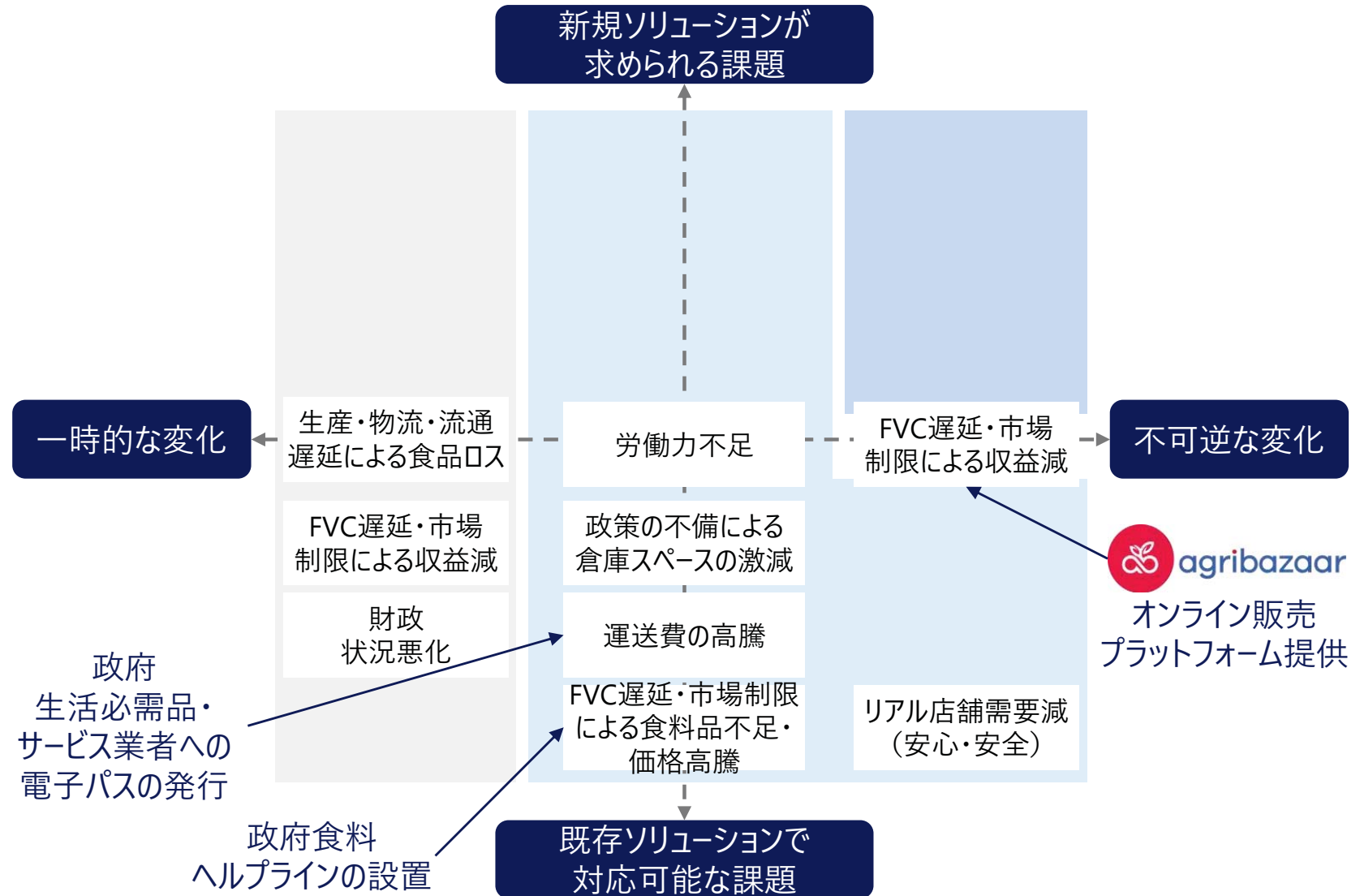
①2軸で整理

横：課題による変化の時間軸—
一時的か不可逆か

縦：ソリューション軸方向性軸—
解決に求められるソリューションは
既存か新規か

②課題対応の方向性で整理

止血	オペレーションの再開・サプライチェーンの再構築
レジリエンス (耐性)	将来のパンデミックを見越した備え
肉体改造	価値観・ビジネスモデルの変化への対応



インドご報告内容 & サマリ - COVID-19 により顕在化したFVC の課題 & 現地FVC再構築に向けた最新動向

発生した課題への対応事例は下記の通り



課題対応の方向性

課題整理フレームワーク

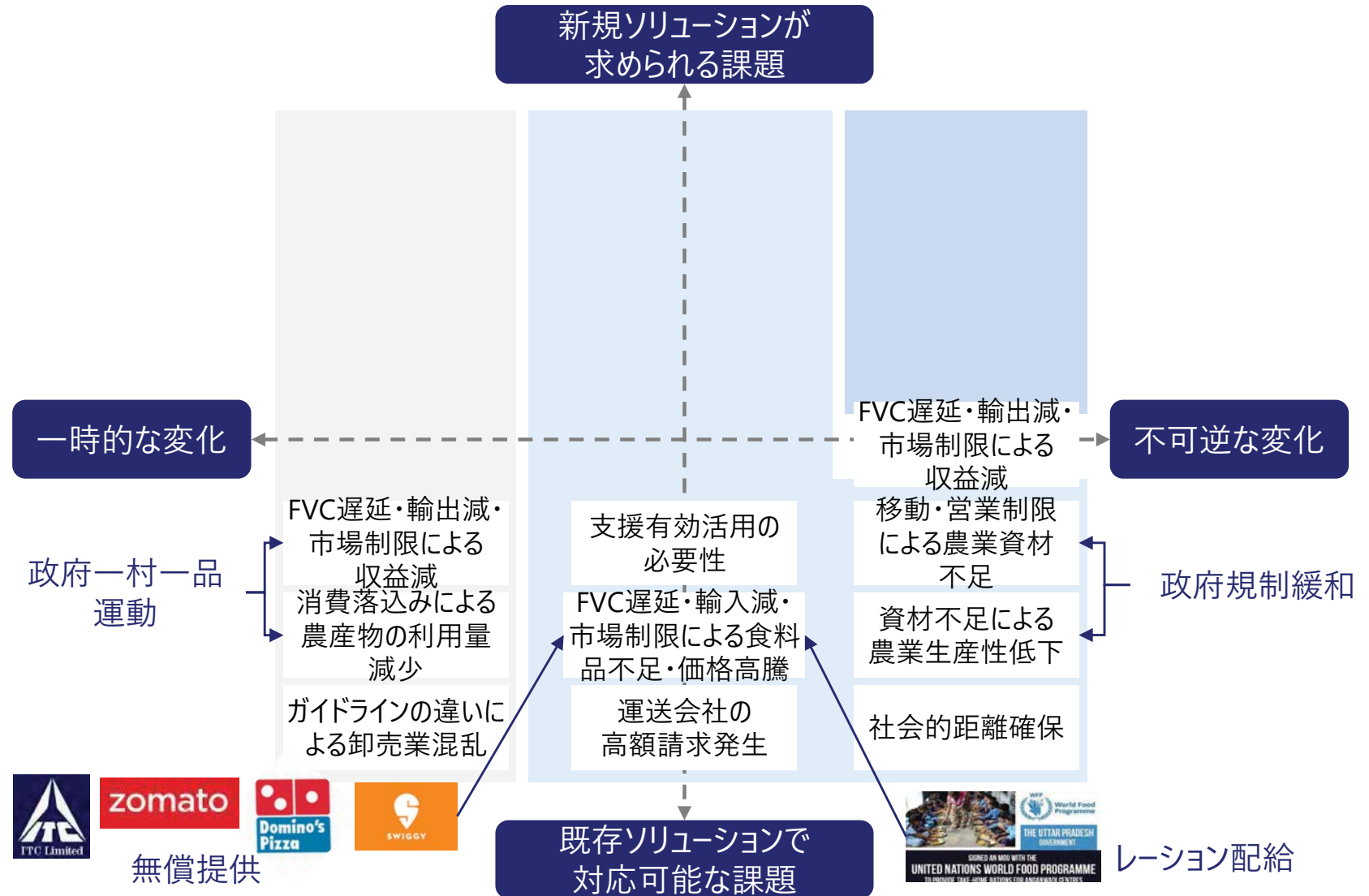
①2軸で整理

横：課題による変化の時間軸—
一時的か不可逆か

縦：ソリューション軸方向性軸—
解決に求められるソリューションは
既存か新規か

②課題対応の方向性で整理

止血	オペレーションの再開・サプライチェーンの再構築
レジリエンス (耐性)	将来のパンデミックを見越した備え
肉体改造	価値観・ビジネスモデルの変化への対応



インドご報告内容 & サマリ - COVID-19 により顕在化したFVC の課題 & 現地FVC再構築に向けた最新動向

発生した課題への対応事例は下記の通り



課題対応の方向性

課題整理フレームワーク

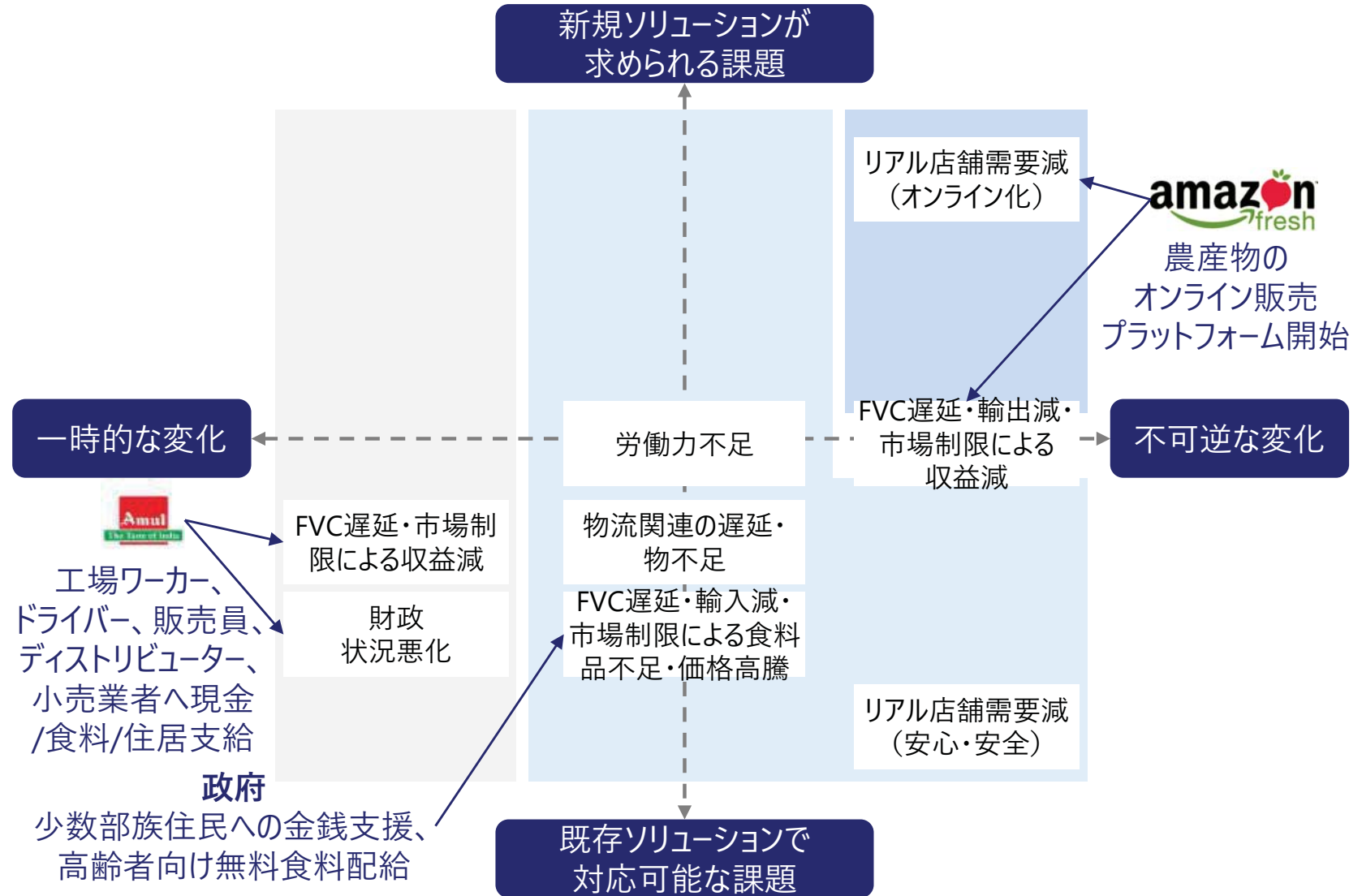
①2軸で整理

横：課題による変化の時間軸—
一時的か不可逆か

縦：ソリューション軸方向性軸—
解決に求められるソリューションは
既存か新規か

②課題対応の方向性で整理

止血	オペレーションの再開・サプライチェーンの再構築
レジリエンス (耐性)	将来のパンデミックを見越した備え
肉体改造	価値観・ビジネスモデルの変化への対応



インドご報告内容 & サマリ - COVID-19 により顕在化したFVC の課題 & 現地FVC再構築に向けた最新動向

発生した課題への対応事例は下記の通り



課題対応の方向性

課題整理フレームワーク

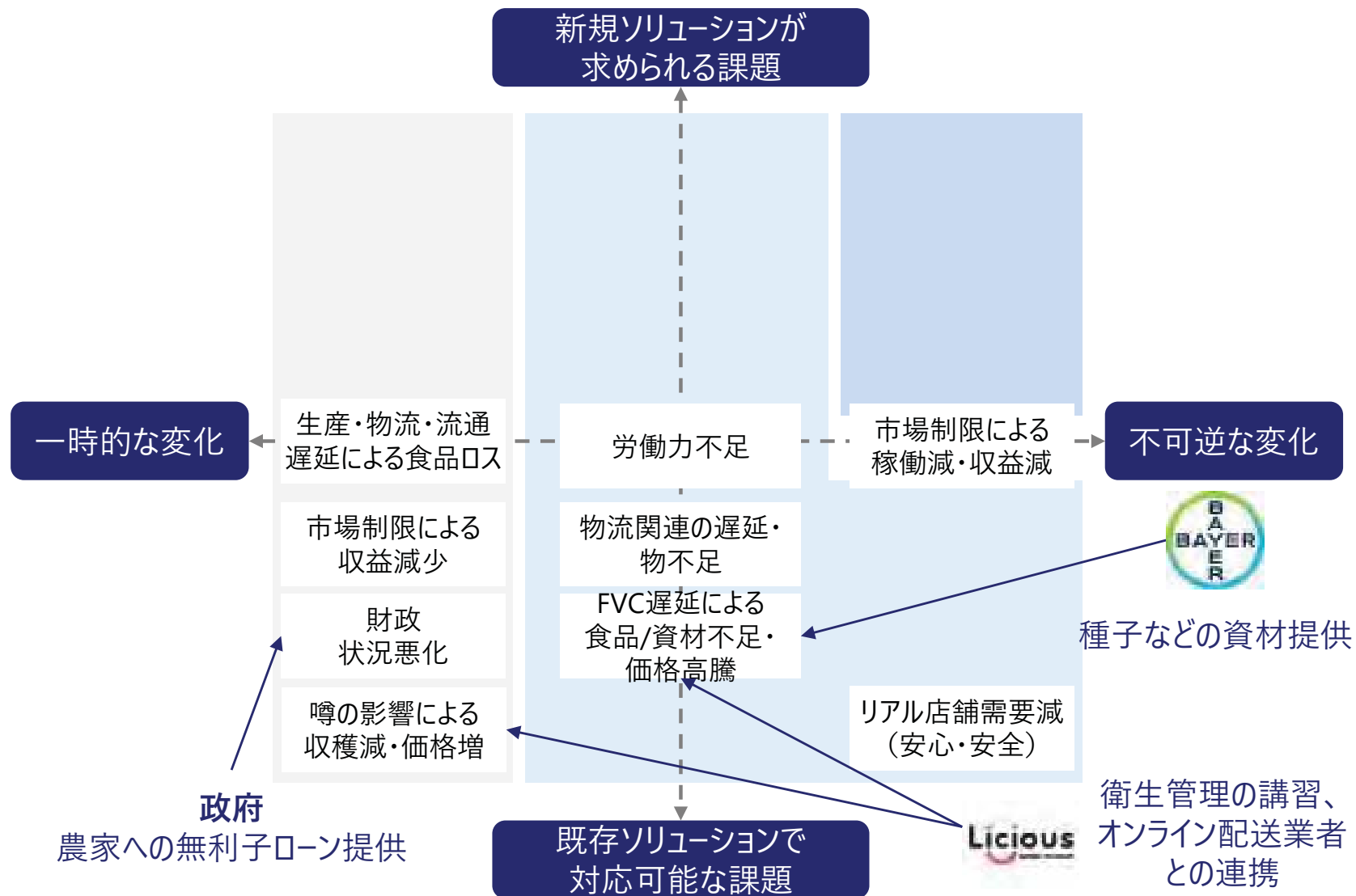
①2軸で整理

横：課題による変化の時間軸—
一時的か不可逆か

縦：ソリューション軸方向性軸—
解決に求められるソリューションは
既存か新規か

②課題対応の方向性で整理

止血	オペレーションの再開・サプライチェーンの再構築
レジリエンス (耐性)	将来のパンデミックを見越した備え
肉体改造	価値観・ビジネスモデルの変化への対応



インドご報告内容 & サマリ - COVID-19 により顕在化したFVC の課題 & 現地FVC再構築に向けた最新動向 発生した課題への対応事例は下記の通り



課題対応の方向性

課題整理フレームワーク

①2軸で整理

横：課題による変化の時間軸—
一時的か不可逆か

縦：ソリューション軸方向性軸—
解決に求められるソリューションは
既存か新規か

②課題対応の方向性で整理

止血	オペレーションの再開・サプライチェーンの再構築
レジリエンス (耐性)	将来のパンデミックを見越した備え
肉体改造	価値観・ビジネスモデルの変化への対応

